

## 第1回津別町議会定例会『行政報告』（追加）

はじめに、高齢者に対するお祝いについてであります。3月6日、梶田 要様が100歳の誕生日を迎えられましたことから、今後とも益々のご健勝を願い、記念品を贈り祝意を表したところであります。

次に、3月9日の降雨と気温上昇に伴う融雪災害の対応についてであります。低気圧に伴う雨と気温の上昇により融雪が進み、午後4時50分頃、本岐市街地内の国道に架かる小桜橋付近において、融雪による氷塊がポンキキン川を堰き止め、河川水が氷とともに国道に流れ出し、市街地側の国道の低地に溜まるとともに、津別消防団第3分団詰所に向かって流れ出ているとの報告がありました。

その後も流水が続いたため、家屋への浸水被害の恐れがあると判断し、本岐地区住民の避難に備え、午後6時7分に災害対策本部を設置し、避難所開設の準備を進めるとともに、国道に溜まった河川水を網走川に流す作業を行い、第3分団詰所付近への流水と氷を雨水升に流し込む作業を行ったところです。

こうした作業により、本岐市街地への浸水の恐れはなくなり、避難情報を発令するまでには至りませんでした。1戸1名が、本岐自治会長宅に自主避難されたところです。避難に際しましては、地元消防団員と自治会の方々のご協力をいただきましたことに、深く感謝を申し上げる次第です。

なお、この河川の越水により、道道津別陸別線の交差点から大昭方面の出口までの間の国道が通行止めとなりましたが、3月10日、午前6時に解除され、災害対策本部については、新たな災害発生の恐れがないことを確認し、同日、午前11時15分をもって解散いたしました。

また、同日午後には、高橋文明道議とオホーツク総合振興局職員による被害状況の現地調査が行われ、本町からこの時点で把握していた農業被害と河川の越水状況の説明を行い、復旧についての要望を行なったところです。

現在把握している被害状況は、幸いにも人的被害はありませんでしたが、農業関係で、畑の冠水が16箇所33.5ヘクタール、玉葱ハウス4棟200坪の冠水、D型車庫2棟の浸水、大昭地区において河川からの越水が牛舎に浸水し、牛を避難させる措置がとられたところです。

河川関係では、豊永、美都、本岐、大昭、双葉、布川地区の9箇所  
所で越水がありましたが、目視できる範囲での被害は確認されま  
せんでした。

道路関係では、美都地区の町道267号線が越水により道路の一  
部が流失し、双葉地区の町道354号線に越水と氷塊が打ち上げら  
れたほか、大昭地区の町道304号線でも越水がありましたが、特  
に大きな被害はありませんでした。

農地や鹿柵など詳細な被害状況につきましては、雪解け後に再度  
調査を行なう予定としています。

なお、今議会におきまして、補正予算の議案を追加して提出する  
こととしておりますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りま  
すようお願い申し上げます。